

平成30年度

事業報告書

特定非営利活動法人 地域認知症サポートブリッジ

1 事業の成果

平成30年度は各地域の包括支援センター、民生委員、認知症コーディネーターとの連携をはかり、月に2回多世代交流会を開催し「認知症があっても暮らせる街づくり」をテーマに掲げた活動を行った。核家族が増える都会の暮らしの中で子供から高齢者まで集える場はとても貴重であり、「協働」の意味を再認識できる場でもあった。高齢者世帯、日中独居の方々が住み慣れた地域で暮らし続けることが困難になっている都会の現状を地域の自治体と再認識する。

また1月にはBPSDを伴う認知症ケアに重点を置いた地域かかりつけ医師研修と、医師・コメディカル一体のチーム研修を実施した。当法人が培ってきた成果を全国各地で応用できるようなシステムが構築できている。

三鷹市のクリニックと共同で医農連携事業を実施した。町田市内の耕作放棄地を開墾し、井戸掘り、ビニルハウス作り、野菜栽培（イチゴ、蕎麦等）、さらには収穫物を利用した蕎麦打ち大会など、認知症のあるなしにかかわらず、一緒に「したいこと」を楽しめる場作りにコミットした。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 695 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
地域における認知症周辺問題に関する実践的な技術支援事業	医療職による研修 医師の講演開催	1月	江東区	60名	全国各地の認知症専門医及び介護従事者	60名	0
地域における認知症周辺問題に関する実務研修事業	医療職による研修 医師の講演開催	1月	江東区	60名	全国各地の認知症専門医及び介護従事者	60名	0
地域における認知症周辺問題に関する研究事業	医療職による研修 医師の講演開催	1月	江東区	60名	全国各地の認知症専門医及び介護従事者	60名	0
地域における認知症周辺問題に関する地域基盤的なネットワーク作り事業	医農福連携連携事業 三鷹市のクリニックと共同で、耕作放棄地の開墾、井戸掘り、ビニルハウス作り、イチゴ栽培、蕎麦栽培、蕎麦打ちイベントの開催)	4月～3月までの20回	町田市	各回2～20名	認知症当事者とその家族、学生、地域の人など	120名	695
地域における認知症周辺問題に関する啓発支援・認知症予防関連事業	専門医を交えて認知症当事者と介護職との懇談会	4月～3月	三鷹市	30名	都内近郊の認知症当事者と家族、介護スタッフ	20名	0

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
なし					

30年度 活動計算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人地域認知症サポートブリッ

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
(A) 経常収益			
1	受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費		0
2	受取寄附金 受取寄附金 施設等受入評価益	1,200,000	1,200,000
3	受取助成金等 受取補助金		0
4	事業収益 事業収益 事業収益		0
5	その他の収益 受取利息	8	8
経常収益計			1,200,008
(B) 経常費用			
1	事業費		
	(1) 人件費 給料手当 役員報酬 福利厚生費		0
	(2) その他経費 業務委託費 会議費 旅費交通費 消耗品費 通信費 新聞図書費 諸会費	294,920 17,444 126,280 177,200 66,290 2,980 10,000	695,114
事業費計			695,114
2	管理費		
	(1) 人件費 役員報酬 給料手当 退職給付費用 福利厚生費		0
	(2) その他経費 消耗品費 水道光熱費 通信費 地代家賃 旅費交通費 修繕費 支払手数料 支払報酬料	44,285 15,000 16,572 150,000 31,571 29,160 12,176 363,960	662,724
管理費計			662,724
経常費用計			1,357,838
当期経常増減額 【A】 - 【B】 …①			-157,830
(C) 経常外収益			
	固定資産売却益 過年度損益修正益		0
経常外収益計			0
(D) 経常外費用			
	固定資産売却損 災害損失 過年度損益修正損		0
経常外費用計			0
当期経常外増減額 【C】 - 【D】 …②			0
税引前当期正味財産増減額 ①+② …③			-157,830
	法人税、住民税及び事業税 …④		0
	前期繰越正味財産額 …⑤		422,667
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤			264,837

30年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 地域認知症サポートブリッジ

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		937,268
	現金預金	933,668	
	前払費用	3,600	
	流動資産合計・・・①		937,268
2	固定資産		0
	(1)有形固定資産		0
	車両運搬具		
	什器備品		
	(2)無形固定資産		0
	ソフトウェア		
	借地権		
	(3)投資その他の資産		0
	敷金		
	長期貸付金		
	固定資産合計・・・②		0
【A】	資産合計 ①+②		937,268
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	短期借入金	672,431	
	未払金	0	
	預り金	0	
	流動負債合計・・・③		672,431
2	固定負債		
	長期借入金		
	退職給付引当金		
	固定負債合計・・・④		0
	負債合計 ③+④		672,431
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額	422,667	
	当期正味財産増減額	-157,830	
	正味財産合計		264,837
【B】	負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		937,268

30年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人地域認知症サポートブリッジ

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
該当なし
- (3) 引当金の計上基準
・ 退職給付引当金 該当なし
- ・ 引当金
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
該当なし
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込法式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	(1)地域における 認知症周辺問題 に関する技術支 援 事業	(2)地域における 認知症周辺問題 に関する実務研 修 事業	(3)地域における 認知症周辺問題 に関する研究 事業	(4)地域における 認知症周辺問題 に関する地域基 盤的なネットワーク 作り 事業	(5)地域における 認知症周辺問題 に関する啓発支 援・認知症予防 関連 事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費						0	0	0
2. 受取寄附金						0	1,200,000	1,200,000
3. 受取助成金等						0	0	0
4. 事業収益						0	0	0
5. その他収益						0	8	8
経常収益計	0	0	0	0	0	0	1,200,008	1,200,008
II 経常費用								
(1) 人件費						0		0
給料手当						0		0
役員報酬						0		0
.....						0		0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
業務委託費				294,920		294,920	0	294,920
会議費				17,444		17,444	0	17,444
旅費交通費				126,280		126,280	31,571	157,851
消耗品費				177,200		177,200	44,285	221,485
通信費				66,290		66,290	16,572	82,862
新聞図書費				2,980		2,980	0	2,980
諸会費				10,000		10,000	0	10,000
水道光熱費						0	15,000	15,000
地代家賃						0	150,000	150,000
修繕費						0	29,160	29,160
支払手数料						0	12,176	12,176
支払報酬料						0	363,960	363,960
.....						0	0	0
その他経費計	0	0	0	695,114	0	695,114	662,724	1,357,838
経常費用計	0	0	0	695,114	0	695,114	662,724	1,357,838
当期経常増減額	0	0	0	-695,114	0	-695,114	537,284	-157,830

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
該当なし		

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳
 使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
 当法人の正味財産は 円ですが、そのうち 円は、下記のように使途が特定されています。
 したがって使途が制約されていない正味財産は 円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
該当なし					
合計					

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 車両運搬具 什器備品						
無形固定資産						
投資その他の資産 敷金						
合計						

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に 計上された 金額	内、役員と の取引	内、近親者 及び支配法 人との取引
(活動計算書)			
活動計算書計 (貸借対照表)			
貸借対照表計			

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 事業費と管理費の按分方法
各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、旅費交通費、消耗品費、通信運搬費については従事割合に基づき案分しています。
- ・ その他の事業に係る資産の状況

30年度 財産目録

特定非営利活動法人地域認知症サポートブリッジ

科	目	金額	小計	合計
【A】 資産の部				
1	流動資産			937,268
	現金預金		933,668	
	手元現金	105,560		
	多摩信用金庫普通預金	827,258		
	東京スター銀行普通預金	850		
	未払金		0	
	前払費用		3,600	
	源泉所得税過納付分	3,600		
	流動資産合計・・・①			937,268
2	固定資産			0
	(1) 有形固定資産			0
	車両運搬具		0	
	事業用車両			
	什器備品		0	
	パソコン			
	(2) 無形固定資産			0
	ソフトウェア		0	
	オペレーションシステム			
	文書編集ソフト			
	借地権		0	
	(3) 投資その他の資産			0
	敷金		0	
	長期貸付金		0	
	固定資産合計・・・②			0
【A】 資産合計 ①+②				937,268
【B-1】 負債の部				
1	流動負債			0
	未払金		0	
	預り金		0	
	源泉徴収税			
	流動負債合計・・・③			0
2	固定負債			0
	長期借入金		0	
	退職給付引当金		0	
	職員			
	固定負債合計・・・④			0
【B-1】 負債合計 ③+④				0
【B-2】 正味財産合計 【A】 - 【B-1】				937,268

平成30年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 地域認知症サポートブリッジ

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	理事	キシタ トオル	[REDACTED]	30年4月1日 ～ 31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		木之下 徹			
2	理事	モリト タクヨ		30年4月1日 ～ 31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		森元 拓郎			
3	理事	ホンダ トモ		30年4月1日 ～ 31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		本多 智子			
4	理事	ハブサ ヒロ		30年4月1日 ～ 31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		英 裕雄			
5	監事	サキ ケンジ		30年4月1日 ～ 31年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		佐々木 健二			
6					
7					
8					
9					
10					

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 地域認知症サポートブリッジ

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	木之下 徹	
2	森元 拓郎	
3	本多 智子	
4	英 裕雄	
5	平野 治	
6	八森 淳	
7	高瀬 義昌	
8	徳田 雄人	
9	谷口 真理子	
10	青山 聡子	
11		
12		